



スリーエム ジャパン株式会社

2016年（平成28年）2月16日

**「ふせん/粘着メモ」に書き出すと、
新しいアイデアを思いつく人が 1.7 倍に増加！
～ポスト・イット® 製品が企画会議のお悩み解決～**

「企画会議が停滞し、時間ばかりが過ぎていく...」。ファシリテーターとして会議を進行する際、そんな焦りを感じる人も少なくはないでしょう。

そこで、「ふせん/粘着メモ」のパイオニアであるポスト・イット® ブランドを展開する、スリーエム ジャパン株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役社長：三村 浩一）は、企画会議※1に月1回以上参加している25～45歳の社員の男女400名に、企画会議中の課題についてアンケート調査を実施。ファシリテーター※2経験者が一体どんな課題を抱え、どんな工夫をしているのか、実りある会議を進めるためのヒントを探りました。

【トピックス】

1. 約8割のファシリテーター経験者が「アイデア出しを促す工夫」を実践
2. 実はファシリテーターの9割が会議進行に悩んでいる
2大お悩みは「一部の人の意見に流される」「活発にアイデア・意見が出てこない」
3. 「ふせん/粘着メモ」に書き出すだけで、「新しいアイデアを思いついた人」の割合が1.7倍に増加
4. 「ふせん/粘着メモ」利用者に聞いた！
企画会議で使うと、「意見が活発に出る」「議論をまとめやすい」と評価する声が多数
5. 一方、会議で「ふせん/粘着メモ」を使う際、「はがれやすい」「落ちやすい」などの不満を感じている人も

【調査概要】

調査タイトル：仕事に関するアンケート

調査期間：2015年12月17日～12月21日

調査方法：インターネットリサーチ

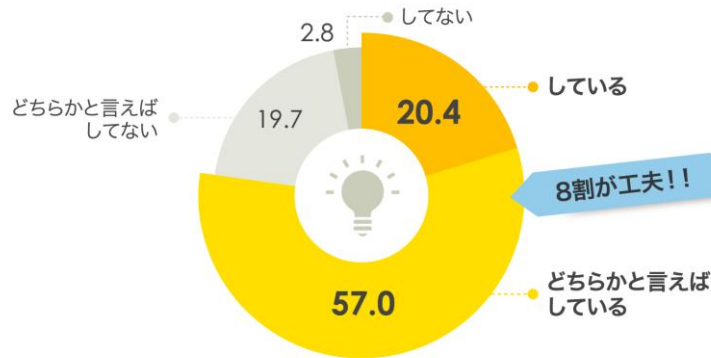
調査対象：企画会議に月1回以上参加している正社員、契約・派遣社員 25～45歳の男女400名
（Qzoo会員）

※1 本アンケートでの「企画会議」は、キャンペーン企画、新製品検討、新事業創造などアイデアを出し合う会議を指します。

※2 ファシリテーターとは、会議における「進行役」として、常に中立の立場で会議のプロセスに関わりあいつながら、会議の目的に沿って進むよう支援する人

1. 約8割のファシリテーター経験者が「アイデア出しを促す工夫」を実践

ファシリテーター(進行役)として、
参加者がアイデアを出しやすいような工夫を
何か行っていますか? (%)



スリーエムジャパン株式会社 会議に関する調査(ファシリテーター経験者 N=142)

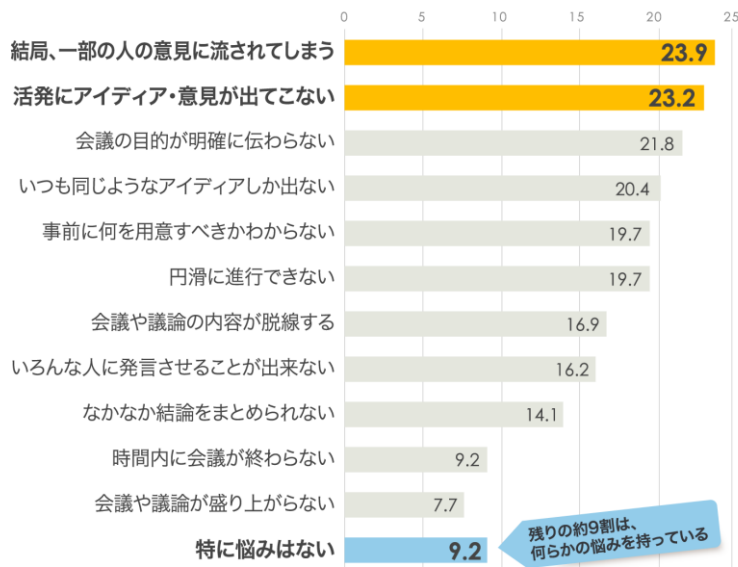
会議進行時に「アイデア出しを促す工夫をしている」と回答した人は、全体の約8割いることがわかりました。しかし、工夫の内容としては「順番に発言させる(営業・営業企画/男性)」、「冗談でも何でも気軽に発言できる雰囲気作りをする(技術系・ソフトウェア関連/男性)」、「どんな意見も否定しない(事務/女性)」など、「雰囲気作り」としての抽象的な回答が多く見られました。

何か道具を取り入れる、会議の構成を変えるなどの目に見える工夫でなく、ファシリテーターの判断で左右される抽象的な工夫ばかりで、本当に悩みは解決できているのでしょうか?

2. 実はファシリテーターの9割が会議進行に悩んでいる

2大お悩みは「一部の人の意見に流される」「活発にアイデア・意見が出てこない」

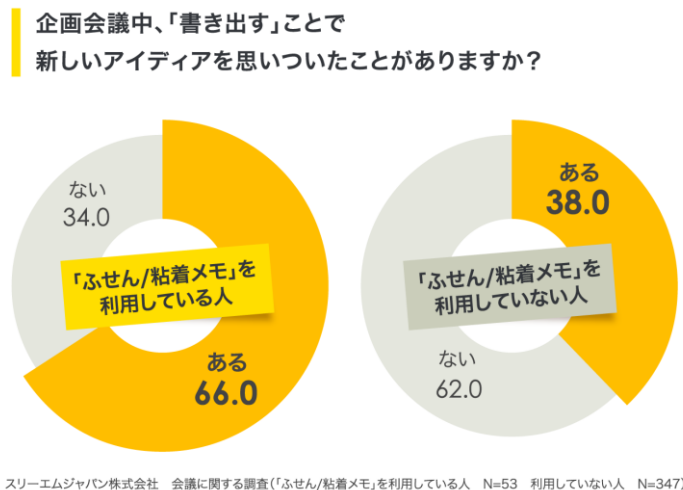
あなたがファシリテーター(進行役)をするとき、
会議の進め方についてどのような悩みがありますか?(複数選択可・%)



スリーエムジャパン株式会社 会議に関する調査(ファシリテーター経験者 N=142)

「アイデア出しの工夫をしている」と約8割のファシリテーターが回答していたにも関わらず、現実にはそれを上回る9割もの方が会議の進め方についての悩みを抱えていました。具体的には、「結局、一部の人の意見に流されてしまう」(23.9%)、「活発にアイデア・意見が出てこない」(23.2%)という悩みが上位を占めました。では、活発に意見やアイデアを出し合い、実りある会議にするためには、どのような工夫をしたら良いのでしょうか。

3. 「ふせん/粘着メモ」に書き出すだけで、「新しいアイデアを思いついた人」の割合が1.7倍に増加



活発に意見やアイデアを出し合う会議にする方法を探るため、「『書き出すこと』で新しいアイデアを思いつくかどうか」を会議参加者に聞いたところ、「ふせん/粘着メモ」を活用している人の66.0%が新しいアイデアを思いついたことがあると回答。一方「ふせん/粘着メモ」を利用していない人ではアイデアを思いついたことがある人は38.0%でした。「ふせん/粘着メモ」に書き出している人のほうが、「新しいアイデアを思いつく」割合が1.7倍も高いという結果が出ました。ツールとして「ふせん/粘着メモ」を活用し、そこに「書き出す=可視化する」という方法は、確実に有効だと言えるでしょう。

4. 「ふせん/粘着メモ」利用者に聞いた！

企画会議で使うと、「意見が活発に出る」「議論をまとめやすい」と評価する声が多数



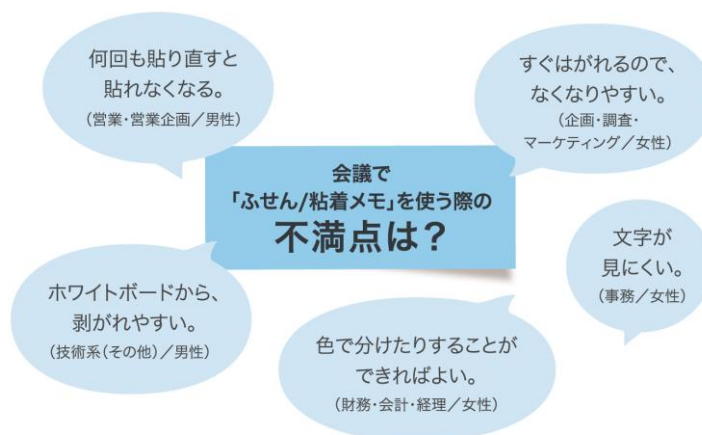
スリーエムジャパン株式会社 会議に関する調査(「ふせん/粘着メモ」を利用している人 N=53)

企画会議で「ふせん/粘着メモ」を使うメリットとして、「1枚に1つぶやき」すればいいので、深く考えずにどんどん意見を出せる。(事務/女性)など、参加者からの意見が出やすくなるとの回答が多くありました。また、「雰囲気はやわらかく。全員が注目するため、トピックにも集中できる。(広報・宣伝/女性)など、会議の雰囲気作りや議題の共有においても役立っているようです。

さらに、「会話が整理しやすく、具体性が増す。(事務/男性)」、「思いつきでの発言を忘れないことで、より付加価値のある発言が期待できるようになった。(経営・管理/男性)」など、出た意見を分類してまとめやすくなるメリットや、さらなるアイデア出しにつなげられるという声もあがっています。

「ふせん/粘着メモ」を使うことで「アイデアが活発に出る場を作る」と同時に、参加者全員のアイデアを視覚化しながら分類できます。それにより「一部の人の意見に流されやすくなることを避ける」ためにも有効な手段と言えます。

5. 一方、会議で「ふせん/粘着メモ」を使う際、「はがれやすい」「落ちやすい」などの不満を感じている人も



スリーエムジャパン株式会社 会議に関する調査(「ふせん/粘着メモ」を利用している人 N=53)

会議で「ふせん/粘着メモ」を使う際に、「粘着力が弱いので、貼り直しには向いていない(事務/男性)」など、はがれやすさに対する不満の声が多くありました。会議中には、ホワイトボードやプラスチックの壁面に貼ることが多く、それを何度も貼り直すため、粘着力に問題を感じている人が多く見られました。

また、それにより、紛失しやすいことも問題視され、「落ちやすいため、アイデアなど重要な情報が漏れるリスクがあるので、注意をする必要があると思う。(技術系・ソフトウェア関連/男性)」という意見も。

そのほかにも、文字を書く際により大きいサイズのを望む声や、色分けして分類できるようなものを望む声がありました。

会議で使う「ふせん/粘着メモ」は、アイデアを貼り出して視覚化したり、移動させながら分類したりすることで、自然と多くの意見があがることから「何度貼り直しても、はがれにくいこと」「壁などの垂直面にもしっかり貼れること」が重要な要素だと言えるでしょう。

【まとめ】

ファシリテーターを悩ます企画会議の進行。うまくいかない原因を解消するためには、ファシリテーターが参加者全員からアイデアを引き出し、整理する工夫が必要であり、そのためには「書き出す＝“可視化”すること」が大切です。また、「ふせん/粘着メモ」に書き出すことで、“新しいアイデアを思いつく”割合が1.7倍になることがわかりました。そこで、ツールとして「ふせん/粘着メモ」を使えば、企画会議でアイデアが出やすくなり、一部の意見だけに流されることなく、全体の意見を視覚化して分類することができるでしょう。

一方、会議で使用する「ふせん/粘着メモ」がはがれやすく落ちやすいなどの不満を持つ人も見られ、会議において安心して貼って、はがしてを繰り返すことの出来る「ふせん/粘着メモ」が求められています。

「ポスト・イット® 強粘着ノート」はこのような企画会議での利用に最適です。約2倍の粘着力(当社通常粘着製品比)で、壁などの垂直面に貼ったり、移動して貼り直したりするアイデア出し会議にぴったりです。大きさやカラーのバリエーションも豊富。会議の場を活性化し、成果を上げるためのツールとして広くご活用いただけます。

調査結果は、発想力を高める「会議」について紹介するミーティングソリューション™ スペシャルサイト (http://www.mmm.co.jp/office/post_it/meetingsolution/) にも公開予定です。また、ポスト・イット® ブランドでは、日本企業が行う会議の実態について、年間を通してさまざまな視点から調査・報告していくことを予定しております。

アイデア出し会議に最適なアイテム「ポスト・イット® 強粘着ノート アイデアパック」

ポスト・イット® ブランドは、初心者でもすぐにアイデア出し会議を始められる「ポスト・イット® 強粘着ノート アイデアパック」を発売しました。

① しっかり貼れる強粘着タイプ

約2倍*の粘着力なので、垂直面に貼ったり、分類のために移動させて貼り直したりしても、しっかり貼れます。貼り出したふせんが落下する心配がなく、会議がスムーズに進みます。(* 当社通常粘着製品比)

② 配布しやすい小分けタイプ

ビビッドな5色のポスト・イット® 強粘着ノートは、1パッドあたり30枚の小分けタイプ。各6冊、計30パッド入っています。会議を始める際に、参加者全員に1パッドずつをさっと配布できます。一人一人がアイデアを書き出すことで全員参加を促し、会議の活性化に繋がります。また、1回の会議で使い切れる枚数にすることで、満足度を高めます。

③ 会議のヒントが詰まったミニガイドブック付き

会議に必要な準備物や進め方、ルールなどの情報が詰まったミニガイドブック入り。会議主催者の事前準備をサポートし、これを見ればすぐに発想力が高まる会議が実践できます。

発想力あふれるアイデア出し会議をすぐ実現できる「ポスト・イット® 強粘着ノート アイディアパック」は、会議に悩みを持つビジネスパーソンをサポートします。

| 製品名 | 仕様 | サイズ | 小売価格 |
|-----------------------------|--|-----------|------|
| ポスト・イット® 強粘着ノート アイディアパック | ライム、エレクトリックブルー、オレンジ、ウルトライエロー、ローズ (各 30 枚、5 色×6 パッド) | 75mm×75mm | オープン |



ポスト・イット、Post-it、ミーティングソリューション、Meeting Solutions は、3 M社の商標です

< 製品に関するお客様お問い合わせ先 >
スリーエム ジャパン株式会社 文具・オフィス事業部
<http://www.mmm.co.jp/office/>
TEL : 0120-510-333 (受付時間 平日 9 : 00 ~ 17 : 00)

【3 Mについて】

3 M(本社：米国ミネソタ州)は、Science(サイエンス)をベースに生み出されるイノベーションを通して、人々の生活を豊かにすることを目指します。売上高は 320 億ドルで、9 万人以上の社員が 200 カ国のお客様に製品を提供しています。グローバルな課題に対する 3 Mならではのソリューションに関する詳しい情報は、www.3M.com/ @3MNewsroom (Twitter) をご覧ください。また、3 Mジャパングループに関する詳しい情報は www.mmm.co.jp をご覧ください。